

がんばる 個性を 応援します!

男女共同参画社会の実現に向けて、市はこれまで「いわき市男女共同参画推進条例」を制定し、情報紙「Wing」や「広報いわき」、市ホームページ、年次報告書等で情報発信に努めてきました。また、「第二次いわき市男女共同参画プラン」を定め、学校等においても男女平等教育を実践するとともに、市役所での女性参画も促進しています。このたび、市長にはより良いいわき市を目指す市長としての立場と、子育て真っ最中であるパパとしての立場の両面から、男女共同参画に関する率直な意見を伺いました。

2013年11月22日(金)/いわき市役所

女性の力で社会を救う!

✔女性の社会進出についてどのように考えますか?

これから人口減少社会に突入するので、女性が社会に進出して労働力の一翼を担うのは、必然的な流れです。仕事やまちづくり、教育についても女性の視点で考えることが必要です。核家族化が進んでも、結婚や子育てをしながら働けるよう、保育などの環境を整えることが大事かと思います。

✔働く女性に対して、具体的な支援はありますか?

まず、行政が率先して育児休業などの制度を利用していくことが大切です。そのため、特定事業主行動計画に基づき、「育児のしおり」を作成し、市職員への周知に努めています。

一般企業に向けては、ワーク・ライフ・バランスを推進するための環境づくり、次世代育成支援対策推進法の周知をしています。

また、各種保育サービスを実践し、安心して仕事と子育てができる環境整備を推進しています。今後は、放課後児童クラブを各地域に整備していきたいです。

家庭を充実させるか、スキルアップするか、どちらの選択もできるように、体制や環境作りにもっと取り組む必要があります。

市長もイクメン?!

✔ご家庭での男女共同参画は?

子どもが小さい頃は一緒にお風呂に入っていました。また、息子たちには、お弁当箱を洗わせたり、洗濯物を干させたりしています。家事は全部女性にまかせる

清水敏男市長